



したが、その経験から得た教訓などはありませんか。

### 分署長

地震や風水害等の災害時におけるタイムラインを見直し、新たに作成をしました。日付や時間ごとに警報や河川の状況による対応や、消防職員間で情報を共有できる体制も構築しました。市民の皆さまには、普段から危機意識を持ち、ハザードマップや避難場所の把握、防災セットの準備など家族で話し合いしておくことが必要であり、自助・共助・公助の三つが連携し、助け合いの精神を持つことが大事であると改めて感じました。

### 議会

消防士として市民の方に望むことはあります。すか。

### 分署長

火災も救急も「予防」が第一であります。火災については、起こさない、起こさせないといった暮らしや環境を作り、もし起こってしまったとしても最小限にとどめる備えが必要です。救急については、「いつ具合が悪くなっただかわからない」「いつ倒れたかわからない」などの不測の事態にならないように、ご自身やご家族（特に高齢者や幼児等）の健康管理をお願いいたします。

### 議会

消防士を目指す方へメッセージをお願いいたします。

### 分署長

市民の皆さまの生命・身体・財産を守るといのが我々消防の仕事です。市民の皆さまの安全安心の一翼を担うため、日々の辛い訓



練にも耐え、様々な研修等で教養も高めておりますので、業務遂行中に「ありがとう」の感謝の言葉をかけてもらえるとう士気も高まりますし、仕事にやりがいを感じる瞬間であります。これからも、日々精進して市民の皆さまの負託に応えていきたいと思っておりますので、同じような考えを持つ方がいましたら一緒に頑張りましょう。

（令和3年2月中旬インタビュー）

### ※PA連携

PA連携とは、救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動などを行うこと。消防ポンプ車（Pumper）と救急車（Ambulance）の双方の頭文字から「PA」と呼ばれている。